

# 子供の模擬選挙サイトで公開

若年層に選挙への関心を高めてもらおうと、帯広市明るい選挙推進協議会（明推協、紺野季子会長）は、昨年度から実施する学校への出前講座の様子を、動画投稿サイト「ユーチューブ」「ニコニコ動画」に公開した。子供たちが興味深く模擬選挙に取り組む様子を若者が接する機会の多いサイトで紹介し、投票行動に結びつける狙いもある。



小学校での出前講座の様子を動画投稿サイトに公開した明推協（左から2人目が紺野会長）

## 「ユーチューブ」「ニコニコ動画」

2010年の参院選道選

挙区の帯広の投票率は全道35市で最低だった。こうした現状に衝撃を受けた明推協は、市選挙管理委員会と連携し11年度に出前講座をスタート。帯広コア専門学校を皮切りに帯広高等看護学院、帯広北高で実施したほか、今年度は明星小と緑丘小で模擬選挙を行った。両サイトに公開したのは2月28日に緑丘小6年生に実施した模擬選挙の様子。実際の選挙で使う投票箱や、投票用紙読み取り選別機を用いて投票から開票作業までを体験、投票立会人も児童が務めた本物さながらの「選挙」を約40枚の写

真で構成した。「大人になったら1票を大切にします」など授業後に児童が書いた感想文も紹介している。

BGMには帯広市在住の音楽家クニ河内さんが作詞作曲した「ワ・エ・モア」が歌う「ようこそ」を使用し、十勝の魅力を伝える。

投稿作品を製作した船戸義弘副会長は「ぜひアクセスしてもらい、選挙に関心を持ってほしい」と期待を込める。紺野会長は「児童の感想文を読んですごく効果があると実感した。（まだ実施していない）中学校でも出前講座をやってほしい」と話している。

作品はサイトで「北海道帯広市 緑丘小学校 模擬投票」を入力すると見られる。（澤村真理子）

## 明推協の出前講座「関心持って」